

## 質 問 及 び 回 答

令和7年8月20日公表

該当ページ	質問事項	内 容	回 答
委託仕様書 第4-1	ターゲット選定について	現状の利用者層について。	国内旅行者ではプレシニア層の利用が多く、海外では台湾からの旅行者が大半を占めております。なお、只見線の現状・課題の分析は提案要素としており、評価基準としております。
委託仕様書 第4-1	ターゲット選定について	誘客促進ができれば利用目的は問わないか。 副次的に得られると嬉しい効果はあるか。	利用目的は問いません。 本事業に期待する効果及び目的は仕様書に明示しているとおりです。副次的に得られる効果については、企画提案の中で付帯して得られる効果として記載願います。
委託仕様書 第4-1	ターゲット選定について	日本人をターゲットとした際も多言語対応は必要か。 多言語対応が必須な場合の優先順位や対象言語はあるか。	ターゲット選定については企画提案要素になります。
委託仕様書 第4	集客・乗車促進の重点エリアについて	集客・乗車促進の重点エリアは県管理区間と認識しているが相違ないか。	ご認識のとおりです。
委託仕様書 第4-3	只見線応援団会員への協力要請について	只見線応援団会員の方々に協力を要請することは可能か。	可能です。

委託仕様書 第4-3イ	周遊事業について	周遊事業を行う場合、既にある周辺の二次交通を活かすべきか。新たな独自の交通網を導入する場合、懸念点はあるか。	提案要素となりますが、原則既存事業の活用を検討いたします。独自の交通網を導入する場合は、事業に継続性があるのか、他事業との重複にならないかが懸念点です。
委託仕様書 第4-3ウ	イベントの実施・出展について	イベントの実施・出展を行う場合の委託者のブース対応可能人数及び予算について。 現場確認の有無について。	イベント等を実施する場合、委託者の対応可能人数は3人になります。また、委託者の参加に係る旅費、食費、宿泊費は事業費に含めないでください。その他イベント等の参加・出展に係る費用やゲストの招待等に係る費用については本事業費より捻出してください。また、イベント等を実施に先立ち、委託者が現場確認を必要と判断した場合には事前に現場確認を行います。その際の事業費の取り扱いについても上記と同様になります。
委託仕様書 第4-3ウ	イベントの許可手続き・費用について	駅構内や沿線地域でイベントを実施する場合の許可フローや必要な申請手続き、かかる費用を知りたい。	イベントによってフローや手続き、費用は異なりますのでお答えしかねます。なお、イベントを実施する際の申請手続きや許可手続きについては受託者が事務局として調整・案内をお願いします。
委託仕様書 第4-3ウ	ラッピング車両の運行について	ラッピングなど列車に手を加えることは可能か。	JR東日本旅客鉄道株式会社との協議が必要になることから、本事業期間内で実現することは困難です。
委託仕様書 第4-3ウ	引退した車両の運行について	引退した列車を運行することは可能か。	JR東日本旅客鉄道株式会社との協議が必要になることや、車両の再整備、走行可否の検討に時間を要するため不可能です。
委託仕様書 第4-3エ	制作物の二次利用について	動画・静止画のコンテンツを作成した際の制作物の別事業での活用をはじめとした二次利用について。	事前に発注者に確認をとり許可を得た場合、原則「提供：福島県」のクレジット表記や注釈をつけていただくことを条件に二次利用を可能とします。

委託仕様書 第4-3エ	インフルエンサーの活用について	インフルエンサーを活用する際の留意点について。	インフルエンサーを活用して映像やチラシ等を作成した場合は、著作権等に係る手続きは全て処理をしたうえで、制作物の使用期限の有無や二次利用の可否等を明示し、納品願います。
委託仕様書 第4-4	委託者より提供可能な素材の二次利用条件について	HPに掲載されている素材や、ガイドブックに使用されている素材などを使用する際の二次利用条件（期間、用途、媒体範囲等）について。	使用を希望する素材と使用する場所を事前に相談いただければ原則、使用範囲の条件はございません。ただし、使用する際には「提供：福島県」のクレジット表記をお願いします。
委託仕様書 第5-5	「令和7年度福島特定原子力施設地域交付金事業」の表記について	動画・静止画のコンテンツを作成した場合の表記箇所について。	動画・静止画を作成した場合の表記箇所は説明欄とします。その他コンテンツについては、広く周知出来る場所に掲載することを前提にコンテンツの内容に支障しない範囲で、委託者と協議の上決定するものとします。
その他	過去実施した事業について	過去実施した只見線認知度向上・乗車促進プロモーションの内容について。	令和6年度に首都圏に向けた只見線の認知度向上プロモーションとしてメディアを活用してのPRを実施しております。
その他	過去実施した事業について	直近で実施したプロモーションのうち、特に効果が高かった施策について。	テレビ・ネット広告の実施やターゲット層が読者として多い雑誌等への採録記事掲載等です。
その他	過去実施した事業について	過去期待通りの成果が得られなかった施策や、今後は行わない方針の手法はあるか。	特にありません。